

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

期末配当金の受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金の受領株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることが出来ない場合は日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人・
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL. 0120-094-777(通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。
TEL.(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※上記取次所においては、特別口座に記録された株式についてのみお取扱いしております。特別口座以外で株式を管理されている株主様は、口座を管理されている各証券会社経由でお願いします。

第71期報告書

自 2014年4月1日 至 2015年3月31日

- Engineering
- Development
- Manufacturing
- Maintenance
- Trading

Engineering Professional

ミューチュアル “互いに協力する共存の精神”

創業以来、守り続けてきた「共存共栄」の精神のもとに、人々の暮らしに欠かすことのできない医薬品、食品などのより安全で、より効率的な生産ラインをサポートし、社会の発展に貢献しつづけます。

当社は、1949年の創立以来、社名である「MUTUAL」“互いに協力する共存の精神”をモットーに、お取引先の立場になって考え、行動するとともに、サプライヤーとの密接なコラボレーションのもと、強固なバリューチェーンを構築してきました。現在、当社の主力分野であります医薬品業界は法制度の改正、グローバル化などにより加速度的に変化しています。しかしながら、当社が長年に亘って培ってきましたお客様との信頼関係、先進のエンジニアリングは揺るぎないものとして、今後も活躍の場は広がります。

この活躍の場を広げていく原動力が専門技術商社として培ってきた5つの機能です。当社の業界には、機械メーカーやゼネコンなど多くのプレーヤーが存在いたしますが、総合的に生産ラインをサポートする力ではトップレベルのプレーヤーであると自負しております。今、当社はこの5つの機能のもとに既存市場の深耕、新たな業界・分野への進出を協力関係にあるサプライヤーとともに図っていきます。

エンジニアリング機能



生産ラインの最適化を図る構想、企画・設計から機器類の選択・改良・据付等の総合的サポート機能、エンジニアリング機能

研究開発機能



マーケットニーズやお客様のご要望に合わせて、機器類の開発、改良を手掛ける機能

製造機能



2014年に「関東工場」を加え、近年拡充を図っている機械設備の開発・製造機能

商社機能



当社が創業以来持ち続けている最先端の情報と製品をユーザーに提供する機能

メンテナンス機能



生産ラインのお引渡し後も、ユーザーのご要望に応え、メンテナンスや技術サポートを提供する機能



代表取締役社長
榎本 洋

ユーザーニーズの多様化にきめ細かく対応することで、増収増益を達成いたしました

経営環境と当社グループ概況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

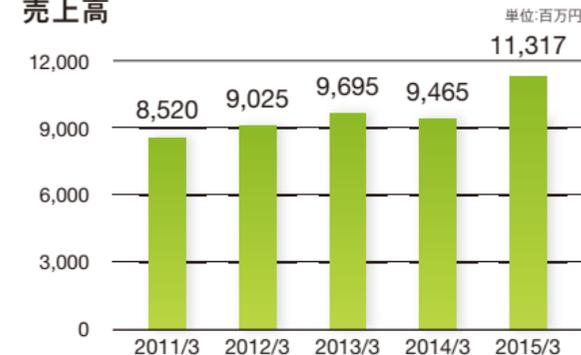
当連結会計年度におきます当社グループを取り巻く経営環境につきましては、政府の経済・産業振興策のひとつであります「生産性向上設備投資促進税制」適用の動きなどが加速し、市場的には追い風で推移いたしました。しかしながら、顧客ニーズは益々多様化し、高度化しております。また、医薬品業界全体の中では、2018年までにジェネリック医薬品を約60%に引き上げる政府目標により、ジェネリック系製薬会社の設備投資意欲は高いものの、新薬系製薬会社の設備投資意欲は低調に推移し、2極化が進んでおります。このように当社グループを取り巻く状況は、緩やかな需要拡大傾向にあるものの、その内容は一つひとつの案件の積み上げであり、顧客ニーズへのより最適なソリューションの提案が重要度を増してきております。そしてこの状況は、専門業者である当社グループの活躍の場を広げていくものと認識しております。

当期の業績

当連結会計年度の状況につきましては、国内外より取り揃えた豊富なラインナップの他、オリジナルの機械、最新技術情報などを紹介し、ユーザーニーズに応えることで受注獲得を強化いたしました。また、これらに加え一部顧客における生産計画の前倒しなどが加わり、売上高は前期比19.6%増収の113億円となりました。また、利益面におきま

ても、売上総利益率が前期比0.4ポイント低下いたしました。大幅な増収効果により、営業利益が前期比58.8%増、経常利益が前期比42.3%増となりました。この結果、当期純利益は、前期比61.8%増の558百万円を達成し、増収増益となりました。1株当たりの配当金につきましては、前期に比べ5円増配の23円とさせていただきます。

売上高



当期純利益



1株当たり配当金



競争力の強化に向けて、エンジニアリング分野を柱に、5つの機能とその連携を強化

今後の戦略

当社グループの主力事業領域であります医薬品業界の設備投資市場は、需要は緩やかに拡大、競争は激化という状況です。すなわち競争の優位性により道が開ける状態です。この競争優位をもたらすためには、多様化・高度化する顧客ニーズに、総合的かつ最適なソリューションの提供できる事業体制を整備することです。こうした視点から当社は、創立以来培ってきた5つの機能を連携し、中でも総合的エンジニアリング機能、顧客ニーズに合致した機械の研究開発機能、製造機能の拡充に動いております。前期（2013年度）には機械の製造を手掛ける「関東工場」を開設。また、本年4月には連結子会社ファーマリード・エンジニアリング

株式会社*を吸収し、同社が培ってきました製剤設計も含めた総合的医薬品製造施設の設計・コンサルティング業務などを当社の技術サービスと融合させ、エンジニアリング分野の強化を図っております。

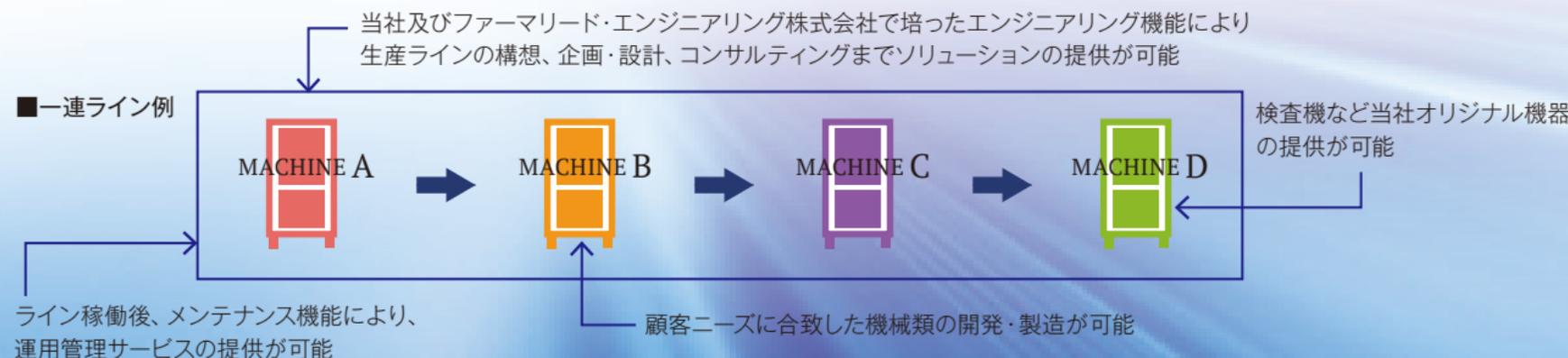
一方、食品業界、海外市場などの当社グループにとって次なる成長を叶える領域においては、当該市場のマーケティングとともに、当社事業の優れたソリューションを知ってもらうことが重要と考え、食品関連の展示会等に積極的に参加しております。当社グループはこれらの施策により、既存市場の深耕と新たな分野への進出を行ってまいります。

*ファーマリード・エンジニアリング株式会社

2005年設立
医薬品製造業の設備投資に係わる企画、設計、管理及びコンサルティング業務

一連ラインへの再注力を推進

一連ライン（生産・設備のライン）市場は金額的に大きいものの、ゼネコン等の参入などプレーヤーが増加し価格競争をはじめ、競合関係が厳しい市場でしたが、顧客ニーズが多様化し高度化する中で、専門業者としての当社グループのノウハウが競争力を生む市場へと変貌しつつあります。こうした中、5つの機能の連携を強化し、受注拡大への取組みを推進しています。



展示会

受注強化に向けて、
様々な展示会に出展

■展示会出展実績及び予定

2014年 6月	: FOOMA JAPAN 2014 [日本]
2014年 7月	: 第27回 インターフェックス ジャパン [日本]
2014年11月	: 国際粉体工業展東京2014 [日本]
2015年 4月	: 国際医薬品原料・中間体展2015 [日本]
2015年 6月(予定)	: FOOMA JAPAN 2015 [日本]
2015年 7月(予定)	: 第28回 インターフェックス ジャパン [日本]

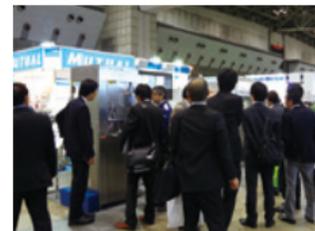
国際粉体工業展東京2014

「粉体」に特化した専門技術展示会です。今回は国内外から314社・団体が出展、会期中14,726人の来場がありました。当社は打錠機COMPRIMA、打錠シミュレーターSTYLONE EVOLUTION、粉碎機クラウドミルなどを出展しました。デモ運転では多数の来場者を迎え、今後の販売促進に極めて有効な展示会となりました。

開催期間: 2014/11/26-11/28

開催場所: 東京ビッグサイト

出展機器: カプセル充填機ZANASI等



展示風景

国際医薬品原料・中間体展2015

「医薬品原料と中間体」に特化した専門技術展示会で、当社は「InnoPack Japan 2015 / DDS・パッケージングイノベーション」ユニットに出展しました。今回は国内外から467社・団体が出展、会期中161,846人の来場がありました。当社はハローヘフリガー社(ドイツ)による「経皮吸収製剤及び経口フィルムの歴史と市場の動向並びに最新のプロセスニーズ」の講演を行い、セミナー会場を埋め尽くす来場者を迎えました。また、小間にも多数のご来場があり今後の販売促進に極めて有効な展示会となりました。

開催期間: 2015/4/22-4/24

開催場所: 東京ビッグサイト

出展機器: 関連サンプル展示



セミナー風景

機械・機器

マーケットニーズに
応える製品を続々と開発

IJ方式 錠剤印刷・検査機 IIM (ツーアイム)

従来のグラビア・オフセット方式に変わるインクジェットプリント技術を採用した錠剤印刷・検査機です。印刷、印刷検査、計数管理が可能で、インクジェットの機能を活かし広範囲な印刷、デザインフリー、従来印刷対象とならなかった素錠への印刷を可能にした画期的な装置です。



IIM-NEW(両面)

ブリスター包装機 PRESTA6000

PRESTA4000を能力アップしたニューモデルです。PRESTA4000同様に特許取得の加熱成型によりブリスターシートのカールを軽減、型替えの再現性・交換時間の短縮に加え、品種対応部品の省コスト化、作業高さを抑えたコンパクトな設計になりました。



PRESTA6000

財務ハイライト

単位：百万円

		2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
売上高	連結	8,520	9,025	9,695	9,465	11,317
営業利益	連結	262	435	439	578	918
経常利益	連結	335	468	341	693	987
当期純利益	連結	158	196	146	345	558
総資産	連結	11,089	11,588	11,295	12,089	14,628
純資産	連結	6,990	7,134	7,406	7,579	8,142
発行済株式総数(千株)	単体	7,920	7,920	7,920	7,620	7,620

部門別売上高

単位：百万円

	2013/3	2014/3	2015/3
産業用機械部門	9,138	8,855	10,633
一連ライン	1,033	797	1,095
製剤機	628	936	394
充填機	2,147	1,150	1,855
検査装置	1,282	1,178	1,973
包装機	1,813	1,925	2,614
部品	719	744	801
改造・調整・修理	1,513	2,122	1,899
工業用ダイヤモンド部門	440	531	606
その他部門	116	78	76
合計	9,695	9,465	11,317

株式基本情報

(2015年3月31日現在)

上場取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード	発行可能株式総数	17,000,000株
上場年月日	2003年6月13日	発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320株 (518,129株)
証券コード	2773	株主数	1,263名
単元株式数	100株		

主な項目の動向

<p>株価 (2014年4月1日~2015年3月31日)</p> <p>最高値 549円 最安値 405円</p>	<p>株主数 (2015年3月31日現在)</p> <p>前期末比 65名増加</p>
<p>配当利回り (2015年3月末営業日の実績)</p> <p>4.28%</p>	<p>PER (2015年3月31日現在)</p> <p>7.85倍</p>

大株主

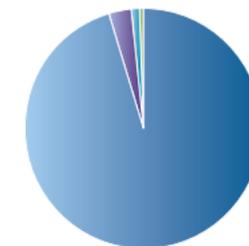
(2015年3月31日現在)

	持株数	持株比率
有限会社エム・ティ・シー開発	1,043千株	14.7%
MTC社員持株会	542千株	7.6%
株式会社三井住友銀行	352千株	5.0%
ミューチュアル取引先持株会	328千株	4.6%
株式会社三菱東京UFJ銀行	264千株	3.7%
三浦 隆	205千株	2.9%
三浦 雅子	199千株	2.8%
豊田 容梨子	174千株	2.5%
森崎 真規子	173千株	2.4%
三浦 浩一	151千株	2.1%

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況

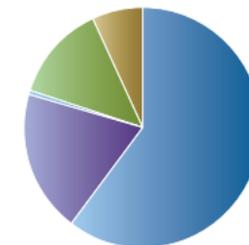
(2015年3月31日現在)



個人	1,205名	95.4%
その他国内法人	38名	3.0%
証券会社	14名	1.1%
金融機関	6名	0.5%

所有者別株式分布状況

(2015年3月31日現在)



個人	460万株	60.4%
その他国内法人	146万株	19.1%
証券会社	5万株	0.7%
金融機関	99万株	13.0%
自己株式	52万株	6.8%

会社概要

(2015年3月31日現在)

社名	株式会社 ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
資本金	6億6,970万円
本社	大阪市北区西天満一丁目2番5号
社員数	(連結) 156名 (単体) 118名
事業内容	自動包装機械及び関連機器の設計・ 製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売

役員

(2015年6月26日現在)

代表取締役会長	三浦隆
代表取締役社長 兼 営業本部長	榎本洋
取締役 専務執行役員西日本営業本部長 兼 大阪営業部長	安東勝浩
取締役 常務執行役員東日本営業本部長 兼 東京支店長	川島浩二
取締役 関東工場長	杉崎扶三男
取締役 管理本部長 兼 総務部長	吉野尊文
取締役(社外)	日比野俊彦
監査役(常勤)	三浦浩一
監査役(社外)	北川和郎
監査役(社外)	中西清

事業所

(2015年4月1日現在)

本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618
東京支社	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル9階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目4番17号 第6岡部ビル5階G室 TEL.(092)477-6751 FAX.(092)481-2461
富山営業所	〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号 富山興銀ビル12階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970
東京技術センター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街ろ55-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531

グループ会社

(2015年4月1日現在)

- 日伊包装株式会社
- 株式会社ウイスト
- Mutual (Thailand) Co., Ltd.
- 三晴精機株式会社